



豊かに生きる就將の子の育成

瀬戸内市立牛窓北小学校

学校だより

令和7年10月22日

No.7

就 將

○「ほかちゃんけんぼう」つくったのは私たちですよ！

6月19日の学校だよりで、「牛窓北小学校の伝統を受け継いで」と題して、「朝のあいさつ」と「ほかちゃんけんぼう」について記述しました。すると、なんと夏休みに「そのことについて知っていますよ。」と1本の電話がかかってきたのです。今年30歳になる、平成19年度卒業生の方からでした。今から18年前、北小がもっと良い学校になるようにと相談して作ったそうです。現

在は、遠く離れた場所で仕事をされているその方が、わざわざお電話をかけて教えてくださいました。卒業生のみなさんが大切にしてきたことを、私たちも大切に受け継がなければという思いを強くしました。

一	ほかちゃん	けんぼう
二	すすんで	あいさつをしよう
三	だれとでも	なかよく あそぼ
四	う	
五	ともだちの	よいところを
六	つばい	みつけよう
	なまえには「さん」	をつけよう
	こまっているひと	には しんせ
	つに	しよう
	おもいやりのある	ことばを
	つかおう	

○令和8年 社会科県大会に向けて

令和8年10月30日に岡山県小学校教育研究会社会科部会の県大会が、牛窓北小で行われます。3～6年生が社会科の授業を公開し研究協議を行います。今年度は下記の単元について授業研究を進めています。

- 3年 農家の人々のくらし（牛窓のキャベツ）
- 4年 地域の発展につくした人々（長浜の干拓）
- 5年 水産業のさかな地域
- 6年 幕府の政治と人々の暮らし（朝鮮通信使）



○1学期に行った、全国・県学力テストの結果について

●基礎的な漢字の読み書き、四則計算の力は、全国や県平均と比べて同程度でした。全国学力テスト（6年生）では、漢字の読み書きの問題が全員正解することができました。

▲国語の活用問題では、長文読解や、条件に合う内容を、分かりやすい文章にまとめることが課題です。

▲算数や理科の活用問題では、自分の解答を式や数を用いて説明することが課題です。

今後も引き続き基礎学力の定着を図り、長文を読み解く時間を設けたり、条件に合わせた文章を書く活動を授業の中で取り入れたりして、思考力を伸ばしていきたいと思ひます。